

みんなの広場

だまり

Vol. 18 SPRING Issue

平成21年4月1日 発行

医療法人社団 晃進会

〒215-0013 神奈川県川崎市麻生区王禅寺1105 http://www.tamahiyoshi.or.jp
TEL:044-955-8220 FAX:044-953-8199 E-mail:info@tamahiyoshi.or.jp



たま日吉台病院 看護部 教育委員会です!

新富士病院グループ

医療法人社団【静岡県】
喜生会 ●新富士病院
●ヒューマンライフ富士(老健)ほか

医療法人社団【神奈川県】
晃進会 ●たま日吉台病院
●よろこび(訪看)ほか

社会福祉法人【静岡県】
秀生会 ●ヒューマンヴィラ伊豆(特養)
●ヒューマンライフ富士(老健)ほか

医療法人社団【東京都】
三医会 ●鶴川厚生病院
●三輪診療所ほか

医療法人財団【東京都】
逸生会 ●大橋病院
●ラボール高島平



たま日吉台病院のサイトに
アクセスできます。

Vol. 18 HEALTHY

タバコとの相互作用



薬剤科
山本 寛子

喫煙は、肺がんなどの発症頻度を高めるだけでなく、狭心症や心筋梗塞、消化性潰瘍などの発症とも深くかかわっていることはよく知られています。タバコには主成分のニコチンの他に4000種類以上の化学物質が含まれており、これによって体にさまざまな悪影響を及ぼします。

一般的に喫煙者では処方された薬の効果が弱まる傾向にあります。たとえば、狭心症や高血圧の治療に使われるβ-ブロッカーという薬に対し、ニコチンは反対の作用を示します。またニコチンは血糖を上昇させるホルモンを増加させてしまうので、糖尿病治療薬であるインスリンの効力が弱くなるといわれています。この他に、タバコに含まれる芳香族多環炭化水素は、喘息の治療に使うテオフリシンという物質の血中濃度を低下させる作用もあります。

このように喫煙と薬の効き方との間には密接な関係があります。当院でも4月から禁煙外来が始まりまし

た。近頃はドラッグストアでもニコチンパッチなどの禁煙補助薬を購入できるようですが、やはり医療機関で医師の指導のもと禁煙していくのが安心です。内服の禁煙薬も保険で処方できますので、この機会に是非ご相談ください。



イベントのお知らせ

行事予定

第9回「健康に感謝する日」 テーマ たま日吉台病院健康行き出発進行!

- 日 時／平成21年5月23日(土) 13時30分～16時(13時より受付)
※当日の午後は休診とさせていただきます。
- 会 場／たま日吉台病院 リハビリテーション室内ほか
- 内 容／●骨密度測定 ●クイックマッサージ などなど

編集後記

この時期はやはり桜の知らせが待ち遠しく感じますね。桜は毎年ほぼ同じ時期に花を開かせては、変わることのない美しさで私たちを楽しませてくれます。

しかし医療は日進月歩で、昨日の常識が今日の非常識であるといつても過言ではありません。病院には、医師、看護師、医療技術者、ソーシャルワーカーなど様々な職種の方が働いており、それぞれの業務は多岐に渡るため、それらすべてを把握することは難しいです。ですが、今回特集した「院内研究発表会」では職種を問わずたくさんの職員が参加し、普段なかなか分からなかった部分が垣間見え、大変充実したものになりました。

私たちはこれからも常に最高の医療を提供し、皆様に信頼され、桜の下に集まるように気軽に来院していただける病院であり続けるよう今後も努力していきたいと思います。



当グループでは、優良職員に対してハワイ研修制度があります。
今年も2月に研修に行ってきました。

Topics!

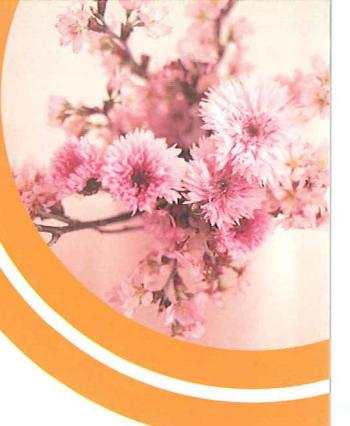
PACS(パックス) システム採用

1月より当院ではPACSシステムを採用しました。PACSシステムとはフィルム画像、CTの画像などを光ディスクに記憶させ、必要なときに必要な画像を取り出せるコンピュータシステムをいいます。これによってモニター上で診断できるようになり、病変部を拡大、測定したり、一つの画面上で、前回の写真と比較したりといろいろ操作できるようになりました。また、患者様のレントゲン写真を、パソコン上で一元管理することで診療待ち時間を短縮することができます。

フィルムレス → 環境にやさしい



院内研究発表会



当院の看護部には教育委員会があり、その委員会主催による「院内研究発表会」が昨年の12月2・3・4日の3日間行われ、盛況のうち無事に終了しました。今年から看護部セクション単位ではなく、コメディカルや各委員会からの発表もあり、多彩な内容の発表会となりました。

第3日目

- 3 当院におけるリスク委員会の活動の現状と安全対策
～ロジックツリー分析法を導入して～**
リスクマネージメント委員会
- 1 サーベイメーターによる各モダリティの線量測定と被曝について**
画像診断科
- 2 現場に即した集合オリエンテーションへの取り組み**
教育委員会
- 3 難治性褥瘡へのアプローチ
～事例を通じ他職種間の連携を考える～**
褥瘡対策委員会

第3日目

院内研究発表会を終えて

教育委員会委員長 木下真由美

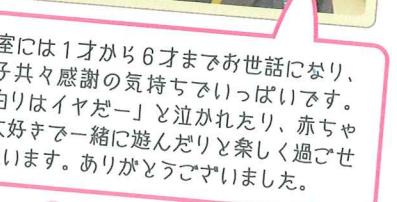
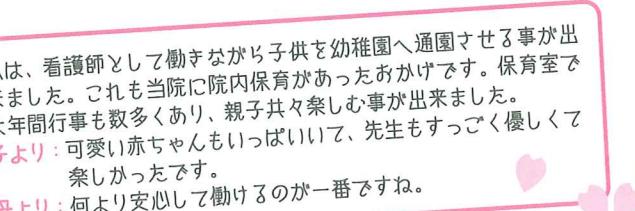
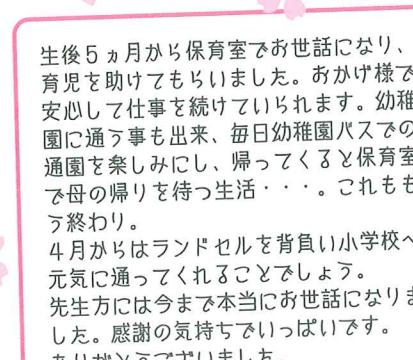
今回はコメディカルと各委員会から、13事例の研究発表がありました。1日60名前後という参加者の多さに、スタッフの関心の高さが伺えました。他部署の業務・委員会活動内容を知る事ができましたので、今後の業務の円滑化や連携の強化に役立てていきたいと思います。

多忙な業務の中、病棟単位ではなく、委員会単位の研究発表ということで、集まる機会を作ることに大変な努力があつたと思います。

委員をはじめ院内のスタッフの協力に助けられ、無事に開催することができました。今後も研究発表ができるようサポートしていきたいと思います。



毎日、幼稚園バスを笑顔で見送った後「今
日も1日仕事を頑張ろう！」と仕事モードに
チェンジ。帰りのバスは保育士さんが出迎
えてくださり、子供もニコニコ。保育士の
みなさまのおかげで無事卒園できました。



3月は卒園
4月は入学の
時期ですね

左ま日吉台病院の保育室
からも幼稚園グループのお
友達4名が4月から小学生
になります。
今回はその4人のお友達と
お母さんを紹介させていた
だきます。

第1回目

- 3 胃ろう造設パス導入までの経過
～クリティカルパス委員会立ち上げからの活動報告～**
クリティカルパス委員会

坂元です
- 4 アルコール手指消毒の意識向上への取り組み**
感染担当者会

長光です
- 5 介護保険制度における医療との連携
～T氏と家族の在宅支援～**
居宅介護支援事業所

田村です
- 1 嘔下に関するリハビリの取り組み**
リハビリテーション科

中島です
- 2 経管患者の栄養状態の現状報告**
栄養科

石井です
- 
江幡です

第1日目

第2日目

- 3 看護業務を数値化する
～看護必要度の活用方法～**
看護部
- 4 認知症が引き起こす昼夜逆転改善への取り組み
～院内ディサービスの活動を通して～**
いきいき広場
- 1 繙続的フォローによりスムーズな在宅復帰が可能となった症例**
リハビリテーション科
- 2 在宅復帰に向けての退院支援**
総合相談部

清水です

栗田です 杉森です

田中です 田中です

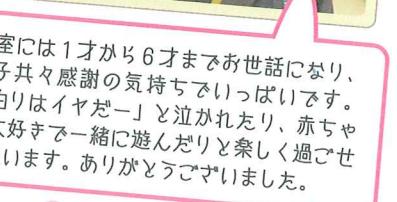
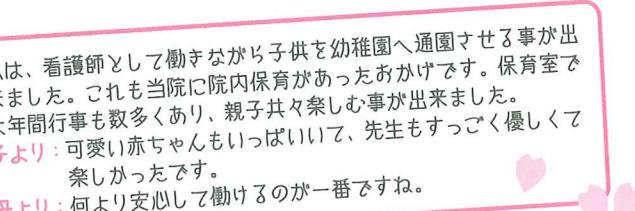
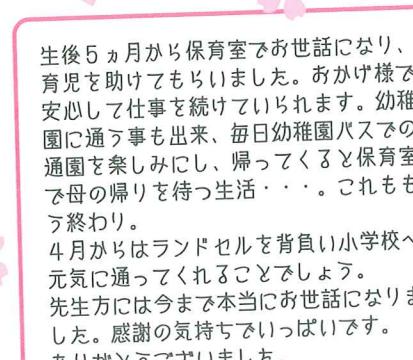
岸本です



第2日目



毎日、幼稚園バスを笑顔で見送った後「今
日も1日仕事を頑張ろう！」と仕事モードに
チェンジ。帰りのバスは保育士さんが出迎
えてくださり、子供もニコニコ。保育士の
みなさまのおかげで無事卒園できました。



3月は卒園
4月は入学の
時期ですね

左ま日吉台病院の保育室
からも幼稚園グループのお
友達4名が4月から小学生
になります。
今回はその4人のお友達と
お母さんを紹介させていた
だきます。